

2018 会 告 No.12



◇通知・案内事項

○第84年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ・・・本号5ページ

上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2018)	(2019)
◇年会		3/13～15(芝浦工業大学)
◇秋季大会		秋季大会は開催いたしません ^{注)}
◇支部大会	12/8(徳島大学)	3/2(東京理科大学)
◇学生発表会(東地区)		3/2(京都大学)
◇学生発表会(西地区)		

注) APCCHE2019(2019年9月23日～27日)開催のため

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
12月 December			
1	第6回ケミカルエンジニアリング・カフェ(東京都)		10号8
3	2018年度コンビナート講習会「プラント保安の高度化」(東京都)		10号13
3	第10回ファインバブル技術講習会「ファインバブル技術の最新動向と計測技術の実演」(神奈川県)		10号10
4	関東支部若手の会(ChEC-East)講演会 「化学工学の可能性;産・官・学をまたいだキャリアパスからの景色」(東京都)		本号7
4～5	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		5号11
5～7	第24回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB24) 第13回反応装置・プロセスシンポジウム(東京都)		7号15
6	第3回企業経営幹部による熟議(東京都)		10号8
6	開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー(大阪府)		10号10
7	第50回CEシリーズ講習会「希望品質の結晶を積み上げる戦略と実践」(東京都)		10号14
7	近化電池セミナー「リチウムイオン電池の最前線」(大阪府)		10号15
7	SCE・Net第116回技術懇談会(東京都)		10号8
7～8	第44回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ!～明日の主役としての自覚と飛躍～」 東京セッション(東京都)		6号8
8	中国四国支部・関西支部合同徳島大会(徳島県)		9号19
11	開発型企業の会 2018年度第4回拡大技術交流会(東京都)	12月4日(火)	本号6
13～14	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(大阪府)		5号11
15	実践化学工学講座 実習編「反応速度定数の決定と実際の反応操作への適用」【1日目】(大阪府)		10号15
2019年1月 January			
10	共通基盤技術シンポジウム2019(東京都)	12月17日(月)	本号6
11	実践化学工学講座 実習編「反応速度定数の決定と実際の反応操作への適用」【2日目】(兵庫県)		10号15
23	先端技術を支える単位操作シリーズ「流動・攪拌, 伝熱の基礎と最新の開発事例」(大阪府)		本号8
24～25	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		9号13
25	第21回企業と大学・高専の人材育成懇談会(福岡県)	12月14日(金)	本号9
25～26	第28回化学工学・粉体工学研究発表会(北海道)	12月17日(月)	10号9
28～30	「反応器の設計」講座(東京都)		9号14
31～2/1	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		5号11

2019年2月 February			
1	第31回CES21講演会「フロー連続合成技術の基礎と実用化 - Good-bye Batch, Welcome to Continuous!! -」(大阪府)		本号8
5	第16回上席化学工学技士交流会(大阪)(兵庫県)	1月28日(月)	本号6
7~8	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		9号14
7~8	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演会&見学会」(大阪府ほか)	1月9日(水)	本号8
20~21	最近の化学工学講習会67「進化する燃料電池・二次電池」(東京都)		本号7
2019年3月 March			
2	第21回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)	12月7日(金)	10号10
2	第21回化学工学会学生発表会京都大会(京都府)	12月7日(金)	10号10
4	第16回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		本号9
13~15	化学工学会第84年会(東京都)	12月22日(土)	本号5

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
11月30日~12月1日	第31回化学工学に関する国際シンポジウム(ISChE2018)(タイ・チェンマイ市)		6号10

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第3回東日本キャタリシスセミナー 触媒のプロセス強化(PI)を考える(静岡県)	11月29日~ 12月1日(木~土)	触媒学会 東日本支 部	kohno.yoshiumi@shizuoka.ac.jp
第8回潜熱工学シンポジウム(愛知県)	12月3~4日 (月~火)	日本潜熱工学研究 会	052-789-5597 kubota.mitsuhiro@material.nagoya-u. ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/8thLatentheatSympo/8thSym-index.html
International Symposium for Materials Scientists ~ for Inspiration to Innovation by Interaction ~ (大阪府)	12月3~4日 (月~火)	大阪大学博士課程 リーディングプロ グラム『インタラ クティブ物質科 学・カデットプロ グラム』	06-6850-6403 (06-6850-6403) kikutsuji-ta@cheng.es.osaka-u.ac.jp http://www.msc.osaka-u.ac.jp/
エネルギー技術シンポジウム2018(東京都)	12月4日(火)	産業技術総合研究 所	029-861-8059 (029-861-8408) https://unit.aist.go.jp/rief/event/20181204
2018プロセス安全シンポジウム岡山大会 ~日本のプロセス安全の新たな境地をめざして~ (岡山県)	12月4日(火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com
エコデザイン・プロダクト&サービスシンポジウム2018 (EcoDePS2018)(東京都)	12月5日(水)	エコデザイン学会 連合	03-5840-8141 (03-5840-8142) secretariat@ecodenet.com
第45回炭素材料学会年会(愛知県)	12月5~7日 (水~金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://tanso.org/
SCIS&ISIS2018 (Joint 10th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 19th International Symposium on Advanced Intelligent Systems)(富山県)	12月5~8日 (水~土)	日本知能情報ファ ジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) soft@flsi.cird.or.jp http://scis2018-j-soft.org
第17回評価・診断に関するシンポジウム(茨城県)	12月6~7日 (木~金)	日本機械学会	hiroki.mano@aist.go.jp http://diagnosis.dynamics.mech.eng.osaka-cu.ac.jp/

平成30年度 材料科学基礎講座 「電子顕微鏡に関わる基礎と関連技術」(大阪府)	12月7日(金)	日本材料科学会	03-3262-9166 (03-3262-7257) mssj@shokabo.co.jp http://www.mssj.gr.jp/
石油化学会シンポジウム－CCUS－ エネルギーと化学におけるCO ₂ 回収固定・利用－ (東京都)	12月7日(金)	石油学会	03-6206-4301 (03-6206-4302) member@sekiyu-gakkai.or.jp https://www.sekiyu-gakkai.or.jp/jp/gyouji/20181207.html
プラスチック成形加工学会「第166回講演会」 バイオインスパイアード技術と成形加工(大阪府)	12月10日(月)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
講習会「静電気の利用と制御」(東京都)	12月11日(火)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://www.iesj.org/
第19回エネルギー貯槽セミナー ～設備保安スマート化の最新動向(東京都)	12月11日(火)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/
第15回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会～分子動力学計算と電子状態計算～ (東京都)	12月11～12日 (火～水)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第32回数値流体力学シンポジウム(東京都)	12月11～13日 (火～木)	日本流体学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) z-cfd32_admin@ml.jaxa.jp http://www.nagare.or.jp/cfd/cfd32/
第20回生体触媒化学シンポジウム(神奈川県)	12月12～13日 (水～木)	生体触媒化学研究会	045-924-5757 tmatsuda@bio.titech.ac.jp http://www.matsuda.bio.titech.ac.jp/biocatjapan2018.html
第38回レオロジー講座－基礎と測定法－(東京都)	12月13～14日 (木～金)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第31回バイオエンジニアリング講演会(福島県)	12月14～15日 (金～土)	日本機械学会	bioconf18-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf18-2/
第2回ゼロライトセミナー(大阪府)	12月17日(月)	日本ゼロライト学会	06-6850-6255 (06-6850-6257) nisiyama@cheng.es.osaka-u.ac.jp https://jza-online.org/events
第27回微粒化シンポジウム(岡山県)	12月17～18日 (月～火)	日本液体微粒化学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) infomation_atmz@ilass-japan.gr.jp http://www.ilass-japan.gr.jp
革新的環境技術シンポジウム2018 ～長期低排出発展戦略の実現に向けた イノベーションの推進～(東京都)	12月19日(水)	地球環境産業技術 研究機構	0774-75-2301 (0774-75-2314) pub_rite@rite.or.jp http://www.rite.or.jp/
No.18-135 講習会 「混相流入門:実験・数値計算の基礎から実例まで」 (東京都)	12月25日(火)	日本機械学会	03-5360-3504 (03-5360-3508) sekine@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm
日本化学連合シンポジウム 「大学の未来をどう描くか:国立大学法人経営統合等」 (東京都)	12月26日(水)	日本化学連合	03-3292-6010 (03-3292-6319) secretariat@jucst.org https://www.jucst.org/entry.php#20181127
Short Course(精密塗布乾燥)(東京都)	2019年1月8日(火)	ミネソタ大学 IPRIME	cra-post@bunken.co.jp https://www.csc2019.jp/

プラスチック成形加工学会「第167回講演会」 プラスチック成形加工に役立つ分析技術(東京都)	2019年1月16日(水)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
第30回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2019年1月 16～17日(水～木)	高分子学会高分子ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
第14回バイオマス科学会議(広島県)	2019年1月 16～17日(水～木)	日本エネルギー学会 バイオマス部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) bio14happyo@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/629/
第40回安全工学セミナー 安全マネジメント講座(東京都)	2019年1月17～ 18日(木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
表面科学技術研究会2019 今, その界面はどうなっているか? 一分光法で解き明かす電極界面の素顔(大阪府)	2019年1月18日(金)	日本表面真空学会 関西支部	075-781-1107 (075-791-7659) kansai-office@sfj.or.jp http://www.sssj.org/Kansai/goudou19118.html
第8回革新的CO ₂ 膜分離技術シンポジウム(東京都)	2019年1月18日(金)	次世代型膜モジュール技術研究組合	0774-75-2305 (0774-75-2318) mgmsympo@rite.or.jp
公開シンポジウム 「第4回理論応用力学シンポジウム —力学と新学術の融合—」(東京都)	2019年1月23日(水)	日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会	092-802-3100 (092-802-3098) takata@mech.kyushu-u.ac.jp
セミナー「分野外の技術者にもわかる伝熱工学 —最新の数値解析と実験計測の研究事例—」(東京都)	2019年1月23日(水)	日本伝熱学会 関東支部	042-388-7089 (042-388-7089) murata@cc.tuat.ac.jp http://htsj.or.jp/announcement/1780.html
第13回晶析操作の基礎と実践 「合成化学・プロセス化学と晶析技術との接点」(東京都)	2019年1月23日(水)	分離技術会	044-935-2578 jimu@sspej.gr.jp http://www.sspej.gr.jp/index.html
第31回自律分散システム・シンポジウム(大阪府)	2019年1月 24～25日(木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://sites.google.com/a/sice-das.org/das31th/submission
第24回高専シンポジウム in Oyama(栃木県)	2019年1月26日(土)	国立高等専門学校機構	0285-20-2141 (0285-20-2882) senkou@oyama-ct.ac.jp
第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2019年1月 29～30日(火～水)	エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp http://www.jser.gr.jp/index.html
「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」 シンポジウム Mate 2019(神奈川県)	2019年1月 29～30日(火～水)	スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会, 溶接学会 マイクロ接合研究委員会	http://sps-mste.jp/mate2019/src/
【第41回】2019産業安全対策シンポジウム(東京都)	2019年2月 19～22日(火～金)	日本プラントメンテナンス協会, 日本能率協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第10回日本複合材料会議(JCCM-10)(東京都)	2019年3月6～8日 (水～金)	日本複合材料学会, 日本材料学会	03-5981-6011 (03-5981-6012) jsem@asas.or.jp http://www.jsem.gr.jp

18-1 高分子と水・分離に関する研究会 2018年度界面動電現象研究会 水・高分子界面の移動現象から俯瞰する生物資源と環境のコロイド工学(東京都)	2019年3月11日(月)	高分子学会	03-5540-3771 (03-5540-3737) http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php
生産システム部門研究発表講演会 2019(神奈川県)	2019年3月12日(火)	日本機械学会	03-5360-3503 (03-5360-3508) fujita@jsme.or.jp https://www.sasj2.net/MAS/jsmemsd/welcome
第11回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第12回プラズマナノ科学技術国際会議 ISPlasma2019/IC-PLANTS2019(愛知県)	2019年3月 17~21日(日~木)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2019@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
No.19-9 第53回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	2019年4月 17~19日(水~金)	日本機械学会, 空気調和・衛生工学会, 日本冷凍空調学会	03-5360-3506 (03-5360-3509) endo@jsme.or.jp
2019 International Conference on Electronics Packaging (ICEP2019)(新潟県)	2019年4月 17~20日(水~土)	エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) icep2019@jiep.or.jp http://www.jiep.or.jp/icep/
世界水素技術会議2019(東京都)	2019年6月2~7日 (日~金)	水素エネルギー協会	029-861-8712 (029-861-8712) org@whtc2019.jp http://whtc2019.jp
第3回アジア赤外線サーモグラフィコンファレンス(東京都)	2019年7月1~5日 (月~金)	日本非破壊検査協会	03-5609-4011 sec@qirtasia2019.com https://qirtasia2019.com/
第56回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	2019年7月3~5日 (水~金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
安全工学シンポジウム2019(東京都)	2019年7月3~5日 (水~金)	日本学術会議 総合工学委員会	03-3262-6605 anzen@gakkai-web.net
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8~11日(日~水)	COMPSAFE2020実行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org

第84年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ

講演申込締切: 2018年12月22日(土)23:59

大会webサイトからのお申し込みに限ります。

<http://www3.scej.org/meeting/84a/>

講演要旨原稿提出期間: 2019年1月7日(月)~2月13日(水)23:59 必着

開催: 2019年3月13日(水)~15日(金)

会場: 芝浦工業大学 豊洲キャンパス

(詳細は10月号会告を参照ください。)

○発表形式(口頭, ポスター)について

学生会員・海外学生会員はポスターセッションで発表していただけます。ただし, 学生会員・海外学生会員のうち, 博士課程(但し前期課程を除く)学生に限りポスター発表と口頭発表を選択できます。講演申込においてご注意ください。なお, 正会員, 教育会員, 海外正会員, 海外連携会員, 法人会員(維持会員, 特別会員, 特別地区会員)に属する社員の方は, 口頭発表, ポスター発表のいずれにもお申込みいただけます。

○口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語について

本大会では, 学術発表の口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語を原則として英語とします。ただし対象外となるシンポジウム/セッションがありますので, 詳しくは大会webサイトでご確認ください。

詳細は, 大会webサイト (<http://www3.scej.org/meeting/84a/>)をご参照ください。

問合せ先

化学工学会第84年会実行委員会
E-mail : inquiry-84a@www3.scej.org

人材育成センター

第16回上席化学工学技士交流会 (大阪)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2018年までに188名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様の交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のものと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の

輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいませようお願い申し上げます。

日時 2019年2月5日(火) 14:00～19:00
場所 白鶴酒造(株) (〒658-0041 兵庫県神戸市東灘区住吉南町4-5-5)
<http://www.hakutsuru.co.jp/>
阪神住吉駅より徒歩約5分

対象 「上席化学工学技士」資格保有者
内容

- 13:45 阪神住吉駅改札前に集合
1. 現場製造工程、資料館見学(14:00～15:30)
※工場見学は、上下つなぎの白衣着用となります。
2. 「白鶴酒造の酒造り・研究の紹介」(15:30～16:15)

白鶴酒造(株)研究室 明石貴裕氏

3. SPCE's フォーラム(16:15～17:15)
司会：上席化学工学技士((株)カネカ)

神田彰久氏

<移動>

4. 交流懇親会(17:30～19:00)

募集定員 24名(定員になり次第締切)

申込締切 1月28日(月)

参加費 4,000円(当日会場受付でお支払下さい)

申込方法 化学工学会ホームページよりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター
資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: qualification@attomark.scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

産学官連携センター

2018年度開発型企業の会 第4回拡大技術交流会開催 地下埋設管の更生工法の現状と展望 — ISO TC138SC8の動向に 関連して—

主催 化学工学会産学官連携センター開発型企業の会

日時 2018年12月11日(火) 14:00～19:00
(拡大版のため通常より1時間前倒し開催です)

受付 13:30～、講演会 14:00～17:00、
懇親会 17:00～19:00

会場 東京工業大学大岡山キャンパス南1号館2階215会議室

(東京都目黒区大岡山2-12-1 東急目黒線、大井町線大岡山駅前)

プログラム

本会では、特に注目されている技術に焦点を絞り、最新の技術開発状況の講演を年末に拡大版技術交流会として開催しております。今回は地下埋設管の更生工法に関する3件の講演をお願いしました。

14:00～15:00 「地下埋設管の更生工法の現状と展望」

国立大学法人東京工業大学物質理工学院教授 久保内昌敏氏

15:00～16:00 「下水道・管更生分野の国際戦略と積水化学の取り組み事例」

積水化学工業(株) 渡辺充彦氏

16:00～17:00 「ISO/TC138/SC8での取組みと現

場硬化型更生管の開発」

芦森工業(株) 北川英二氏

17:00～19:00 懇親会 会場：東京工業大学生協第一食堂

参加費 5,000円(懇親会費用含む：領収書は当日用意致します。)

定員 40名

申込締切 12月4日(火)

参加申込 お名前、勤務先/所属部署、連絡先(所在地、TEL/FAX、E-mail) 懇親会出席の有無をE-mailでお送りください。なお、定員を超えた場合はお断りする場合があります。

申込先：公益社団法人 化学工学会 開発型企業の会 事務局

E-mail: kaihatsugata@scej.org

部 会 C T

化学工学会 材料・界面部会 共通基盤技術シンポジウム2019

主催 化学工学会 材料・界面部会

協賛 (一社)日本接着学会、(公社)高分子学会、(公社)日本化学会、(一社)日本レオロジー学会、(一社)日本MRS、(公社)石油学会

日時 2019年1月10日(木) 12:45～18:30(受付12:00開始)

会場 東京大学 武田先端知ビル 武田ホール
(http://www.denki.or.jp/committee/nuc/takeda_map.pdf)

材料・界面部会では、各種材料プロセスを横断するような共通課題(基盤技術)について議論する場を継続的に提供しています。その議論の中から、各研究・技術における共通性を見出し、

学会と産業界との連携を図り、基盤技術の体系化を図ることを目指しています。今年度は、接着・粘着技術から、構造接着、異種材料接着、接着プロセス技術、接着評価技術までを一連のトピックとして取り上げます。接着設計と管理に関わる基礎現象の理解から接着技術の応用展開まで俯瞰的に捉え、広い分野に共通する基盤技術について議論をします。奮ってお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

プログラム

開会の挨拶(12:45～12:50)

材料・界面部会長 同志社大学 塩井章久氏

1. 12:50～13:30

「接着技術の現状・課題と取り組み」

(株)原質接着技術コンサルタント

原質康介氏

2. 13:30～14:10

「金属・プラスチックの異材接合：接着剤の正しい選び方と使いこなし」

エーピーエスリサーチ 若林一民氏

3. 14:10～14:50

「金属の接着：ステンレス鋼の接着と評価」

鈴木接着技術研究所 鈴木靖昭氏

《 休 憩 》

4. 15:00～15:40

「大気圧プラズマを用いた接着」

日本プラズマトリート(株) 上坂一郎氏

5. 15:40～16:20

「半導体用材料の要求仕様と精密解析による材料設計」

リンテック(株) 市川 功氏

6. 16:20～17:00

「材料と生体との界面接着性制御による医療用材料の開発」

物質・材料研究機構・機能性材料拠点

田口哲志氏

《 休憩 》

7. 17:10~17:50

「可逆接着剤の開発と接着界面に関する研究」
産業技術総合研究所・機能化学研究部門
秋山陽久氏

8. 17:50~18:30

「界面分析・評価：接着における制御・解析のための分析技術」

ジャパン・リサーチ・ラボ 奥村治樹氏

懇親会(18:45~20:15)

場所：東京大学 武田先端知ビル 武田ホール

ホワイエ

(http://www.denki.or.jp/committee/nuc/takeda_map.pdf)

参加費 シンポジウム：一般、部会員ともに5,000円(学生無料)、懇親会：一般、部会員ともに3,000円

申込締切 12/17(月)17:00

参加費ならびに懇親会費は当日、会場受付にてお支払い願います。

申込み方法・問い合わせ先

E-mailにて、氏名、所属、連絡先(Tel、

E-mail) および懇親会の参加の有無を明記の

上、下記宛にお申込み下さい。下記のURLにアクセスすると簡単に申し込みが可能です。

<https://www1.doshisha.ac.jp/~molcheng/symposium.html>化学工学会 材料・界面部会事務局 山本大吾
(同志社大学理工学部化学システム創成工学科内)

TEL：0774-65-6564

E-mail：regist-sympo@mail.doshisha.ac.jp



地 域 C T



関 東 支 部

H30年度化学工学会関東支部
若手の会(ChEC-East)講演会
「化学工学の可能性；産・官・学
をまたいだキャリアパスからの景色」

主催 化学工学会関東支部若手の会(ChEC-East)

化学工学の研究・教育を通じて身につけた問題解決型方法論をベースとし、様々な分野で多くの若手研究者・技術者が活躍しています。

本会では、産・官・学の間で活躍の場をうつされた一線の研究者・技術者をお招きし、これまでの研究歴をご紹介いただくと共に、それぞれの視点から見た化学工学の有用性や実学としての化学工学の魅力についてご紹介いただきます。迅速に社会の潜在的ニーズを抽出しつつ、次世代の基盤技術となる研究テーマを設定するのに必要な発想の多様性への示唆が得られる絶好の機会と思います。また、若手研究者・技術者だけでなく、化学工学を学びこれから就職を考えている学生にとっても貴重な機会と思えます。多数のご参加をお待ちしております。

日時 2018年12月4日(火)

会場 東京大学 本郷キャンパス 工学部4号館3階44講義室(401A号室)

キャンパスマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_05_j.htmlアクセスマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

プログラム

14:00~14:05 開会の挨拶

14:05~14:35 「題目(未定)」

JST低炭素社会戦略センター 田中加奈子 様
14:35~15:05 「分離工学から医用工学へー研究キャリアをつなぎ、発展させるー」

東京大学大学院医学系研究科 伊藤大知 様

15:05~15:35 「大学での研究とベンチャー起業での技術開発」

プロメテック・ソフトウェア(株)
山井三亀夫 様

15:35~16:05 「所属先による研究者のR&Rに関して」

東京工業大学科学技術創成研究院
Kim SeonTae 様

16:05~16:20 休憩

16:20~16:50 「食品開発・製造の現場における化学工学～活かす場面、活かさない場面～」

日本水産(株) 山崎圭樹 様

16:50~17:20 「環境問題への取り組みで出会った化学工学」

東京大学大学院工学系研究科 天沢逸里 様

17:20~17:50 「化学工学系研究経験の技術者業務への活用」

三井化学(株) 岩壁幸市 様

17:50~17:55 閉会の挨拶

18:10~19:30 懇親会

参加費 講演会 無料

懇親会 正会員・法人会員・非会員：2,000円、
学生：1,000円

申込方法 下記よりお申込ください。定員(50名)になり次第締切ります。

<https://goo.gl/forms/D1kQag6zSbcZMr393>

シンポジウムオーガナイザー

慶應義塾大学 藤岡沙都子、東京電機大学
小林大祐、日揮(株) 寺谷彰悟

問い合わせ先 寺谷彰悟(teratani.shogo@jgc.com)

最近の化学工学講習会67
「進化する燃料電池・二次電池
ー反応・構造・製造技術の基礎と
未来社会を支える電池技術ー」

主催 (公社)化学工学会関東支部

共催 (公社)化学工学会エネルギー部会、同材料界面部会

協賛 化学工学会反応工学部会、電気化学会、
日本化学会、日本エネルギー学会、日本セラミックス協会、水素エネルギー協会、日本機械学会、応用物理学会、日刊工業新聞

化学工学会関東支部では、最近大きく前進した分野の成果や考え方を集成して解説するとともに、できるだけ次の数年間への問題提起を行うことを目的として「最近の化学工学」講習会シリーズを企画しています。今年度の「進化する燃料電池・二次電池ー反応・構造・製造技術の基礎と未来社会を支える電池技術ー」では、関連する産学の技術者、研究者を講師に迎え、燃料電池・二次電池の電極反応や輸送特性の基礎と電極の構造化の解説を行います。また、これら電池技術を支える材料開発や電極・電解質の界面構造化形成、およびセル化技術についても紹介し、電池技術の理論的背景とその製造技術について体系的に解説します。さらに、最新の電池技術の開発動向や未来社会での電池技術の役割についても紹介することで、燃料電池・二次電池の基礎から応用まで包括的に理解していただく場を設定しました。テキストとして講習会講師を中心とした執筆者による三恵社刊「最近の化学工

学67進化する燃料電池・二次電池」を使用します。皆様奮ってご参加ください。

日時 2019年2月20日(水)・21日(木)の2日間 初日講演了後に交流会を開催

会場 東京大学本郷キャンパス工学部11号館1階講堂 〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
アクセスマップ：https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_12_j.html (TEL：03-5841-6029)

プログラム：初日(2月20日(水))

0. 第一企画委員長挨拶(9:25~9:30)

埼玉大学工学部 本間俊司氏

1. 全体紹介(9:30~9:40)

東京大学大学院新領域創成科学研究科
大友順一郎氏

〈燃料電池・二次電池の電極反応・輸送過程の基礎(電極反応、物質輸送、伝熱)〉

2. 電気化学の基礎(9:40~10:30)

東京工業大学物質理工学院 伊原 学氏

3. 物質輸送(10:30~11:10)

九州大学大学院工学研究院 井上 元氏

4. 伝熱(11:10~11:50)

三重大学大学院工学研究科 西村 顕氏

《総合質疑》(11:50~12:00)

ー昼休憩ー(12:00~13:00)

5. 電池開発を支える計算技術(13:00~13:40)

物質・材料研究機構エネルギー・環境材料研究拠点/信州大学環境・エネルギー材料科学研究 所 古山通久氏

〈塗布技術の基礎〉

6. 塗布技術の基礎と電極構造化形成(13:40~14:30)

九州工業大学大学院工学研究院 山村方人氏

《総合質疑・休憩》(14:30~14:40)

〈電池技術を支える電極材料と電極構造/モルフォロジーの制御、および新電池技術〉

7. 固体高分子形燃料電池(PEFC)(14:40~15:20)

東京工業大学科学技術創成研究院
田巻孝敬氏

8. 直接メタノール形燃料電池(DMFC)(15:20~16:00)

群馬大学大学院理工学府 中川紳好氏

ー休憩ー(16:00~16:10)

9. 固体酸化物形燃料電池(SOFC)(16:10~16:50)

東京大学大学院工学系研究科 菊地隆司氏

10. レドックスフロー電池(16:50~17:30)

群馬大学大学院理工学府 石飛宏和氏

《総合討論》(17:30~17:45)

11. 交流会(18:00~19:30)

2日目(2月21日(木))

〈電極材料および燃料電池/二次電池の製造技術〉



関西支部

先端技術を支える単位操作シリーズ 流動・攪拌, 伝熱の基礎と 最新の開発事例

主催 化学工学会関西支部
協賛 近畿化学協会, 日本化学会近畿支部, 日本機械学会関西支部, 日本混相流学会, 日本伝熱学会, 有機合成化学協会関西支部, 化学工学会粒子・流体プロセス部会
ミキシング技術分科会

日時 2019年1月23日(水)9:45~18:15
会場 大阪科学技術センター4階405号室 (大阪市西区靱本町1-8-4 TEL:06-6443-5324)
(交通)地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分, うつほ公園北詰め

プログラム(質疑応答時間含む)

1. [基調講演] 移動現象から見たプロセス強化 (9:45~10:45)
(神戸大院工)大村直人氏
 2. 流動・攪拌の基礎(10:45~11:45)
(横浜大院工)上ノ山周氏
 3. 目的に応じた攪拌装置の開発事例の紹介 (12:45~13:30)
(佐竹化学機械)吾郷健一氏
 4. 混相攪拌の数値計算(13:30~14:15)
(住友化学)島田直樹氏
 5. 基礎伝熱工学(14:30~15:30)
(関西化学機械製作)片岡邦夫氏
 6. プレート式熱交換器の基礎と設計事例 (15:30~16:15)
(日阪製作所)楠 健司氏
 7. 積層型マイクロチャネル熱交換器の研究事例紹介(16:15~17:00)
(神戸製鋼所)山田紗矢香氏
- 情報交換懇親会(ミキサー)(17:15~18:15)
於: 同所地下1階B101号室

定員 60名(定員になり次第締切)
参加費 主催・協賛団体個人正会員19,000円, 主催・協賛団体法人会員23,000円, 学生会員3,000円, 大学・公設機関7,000円, 会員外学生5,000円, 会員外37,000円(何れもテキスト代, 消費税込)

参加申込方法 Webの参加申込フォームをご利用いただくか, E-mail等にて標記行事項を題記し, (1)受講者氏名, (2)勤務先・所属, (3)連絡先(住所, 郵便・電話番号, E-mail), (4)会員資格, (5)情報交換懇親会(ミキサー)参加の有無, (6)送金方法(予定日), (7)請求書の要否を明記のうえ, 下記宛てにお申し込みください。参加費は銀行振込「りそな銀行 御堂筋支店 普通預金 No.0405228 公益社団法人化学工学会関西支部 名義」をご利用ください。参加申込者には1月中旬に参加証を送付いたします。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

申込先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

第31回CES21講演会 フロー連続合成技術の基礎と実用化 - Good-bye Batch, Welcome to Continuous!! -

主催 化学工学会関西支部CES21
協賛 日本化学会近畿支部, 日本プロセス化学会, 日本薬学会近畿支部, 近畿化学協会, 有機合成化学協会関西支部

日時 2019年2月1日(金)10:30~17:00
会場 大阪市立大学文化交流センター(大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6F)
(交通)JR「大阪駅」「北新地駅」, 大阪メトロ・阪急・阪神「梅田駅」の各駅から徒歩約5分

プログラム

1. マイクロ・フロー生産のための化学工学的課題(10:30~11:20)
(徳島大院社会産業理工)外輪健一郎氏
2. 安定連続生産を実現するためのデータ解析技術(11:20~12:10)
(京大院情報)加納 学氏
3. フローリアクターによる Process Intensification と社会実装への取り組み(13:30~14:20)
(カネカ)大石孝洋氏
4. 「フロー合成法」による化成品製造サービス(14:20~15:10)
(富士フイルム和光純薬)堀江智章氏
5. 企業展示および交流会(出展企業によるショープレゼンテーションあり)(15:10~16:10)
出展参加企業募集中
6. インラインFTIRによる連続生産の最適化(16:10~17:00)
(メトラール・トレド)原 祐樹氏

定員 60名(定員になり次第締切)
参加費 主催・協賛団体会員12,000円, 大学・官公庁7,000円, 学生3,000円, 会員外16,000円(消費税, テキスト代含む)

申込方法 「第31回CES21講演会申込」と題記し, 1)氏名, 2)勤務先(所属, 役職), 3)会員資格, 4)連絡先(〒, 所在地, 電話番号, E-mail), 5)送金方法(予定日)を明記の上, E-mailまたはFAXでお申し込み下さい。参加費は現金書留または銀行振込(りそな銀行 御堂筋支店 普通預金 No.0405228 「公益社団法人化学工学会関西支部」名義)をご利用下さい。

申込先
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
公益社団法人化学工学会関西支部
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

GMPセミナー 医薬品製造に関わるGMPの 最新動向:講演会&見学会

主催 化学工学会関西支部
協賛 ISPE日本本部, 近畿化学協会, 製剤機械技術学会, 日本化学会近畿支部, 日本生物工学会, 日本粉体工業技術協会, 日本PDA製薬学会, 日本農芸化学会関西支部, 日本プロセス化学会, 日本薬学会近畿支部, 粉体工学会, 分離技術会

日時 【講演会】2019年2月7日(木)・
【見学会】2月8日(金)
会場 【講演会】大阪科学技術センター8階
大ホール(大阪市西区靱本町1-8-4)

1. リチウムイオン電池(LIB)(9:50~10:30)
東京工業大学物質理工学院 谷口 泉氏
2. 生産技術:電極形成への応用(1):LIB編(10:30~11:10)
-リチウムイオン電池電極工程におけるコーター技術の最新動向-
東レエンジニアリング(株) 渡邊 敦氏
3. 生産技術:電極形成への応用(2):SOFC編(11:10~11:50)
東京ガス(株) 松崎良雄氏
《総合質疑》(11:50~12:00)
-昼休憩-(12:00~13:00)
《電気化学測定手法の基礎》
4. 電極反応の電気化学測定手法(13:00~13:40)
信州大学繊維学部 福長 博氏
《低炭素・脱炭素社会に向けた未来の電池技術》
5. 将来の超低炭素社会の姿とそこに求められる技術的選択肢(13:40~14:20)
早稲田大学創造理工学部 中垣隆雄氏
6. 全固体電池(14:20~15:00)
大阪府立大学大学院工学研究科 林 晃敏氏
7. ナトリウムイオン電池(15:00~15:40)
東京大学大学院工学系研究科 大久保将史氏
《総合質疑・休憩》(15:40~16:00)
8. 全固体型アルカリ燃料電池(16:00~16:40)
東京工業大学科学技術創成研究院 山口猛央氏
9. 水蒸気電解による水素製造(16:40~17:20)
(株)東芝 吉野正人氏
《総合討論》(17:20~17:40)

募集人数 100名(定員になり次第募集を締め切りとさせていただきますので, その旨ご了承ください)

参加費 正会員(協賛団体含む)30,000円, 法人会員35,000円, 学生会員9,000円, 会員外45,000円

*1日のみ参加の場合:正会員(含協賛団体)18,000円, 法人会員(含協賛団体)の社員23,000円, 学生会員8,000円, 会員外33,000円, サロンメンバー15,000円

※なお, それぞれの参加費には消費税・テキスト代が含まれます。

支払方法 受付後, 参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込みください。当日, 会場での現金払いも可能です。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 Web, メールまたはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み
関東支部HP(<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「最近の化学工学講習会67」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 必要事項を記入の上, ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み
下記関東支部事務局宛, 「最近の化学工学講習会67」と明記し, 会社・学校名, 参加者指名, 所属部署, 郵便番号, 住所, 電話, Fax番号, E-mailアドレス, 会員資格, 参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申し込み先 公益社団法人 化学工学会関西支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
TEL:03-3943-3527 FAX:03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org

(交通)大阪メトロ(地下鉄)四つ橋線「本町駅」25番・28番出口を北へ約7分(うつほ公園北詰)

プログラム

【講演会・2月7日】

1. 改正GMP省令の実施における課題とその対応(10:00～11:00)
(ファーマプランニング)小嶋 勉氏
2. QCラボにおける分析機器のバリデーションとデータインテグリティについて(11:00～12:00)
(アジレント・テクノロジー)塩野伸嗣氏
3. 高性能製剤の生産効率化を目指した連続晶析の活用(13:20～14:20)
(岐阜薬科大)田原耕平氏
4. バイオ原薬の連続製造(14:20～15:20)
(日本ボール)倉嶋秀樹氏
5. 医薬品業界におけるEHSマネジメントについて(15:30～16:30)
(日産化学)中島彩子氏

交流会(情報交換会)(16:50～18:30)

於:同所地下1階B101号室 参加無料

【見学会・2月8日】

- ①フロンティア産業(株)技術開発研究所[テストセンター](静岡県浜松市) 定員30名
- ②高砂香料工業(株)磐田工場[中間体工場](静岡県磐田市) 定員30名
- ③協和発酵キリン(株)高崎工場[原薬・製剤工場](群馬県高崎市) 定員30名

申込締切 1月9日(水)

定員 講演会200名, 見学会90名(定員になり次第締切)

*見学会については, 同業者の方の見学をお断りさせていただく場合がございますので, 予めご了承ください。

*見学会希望者多数の場合は, 先着順で1社当たりの参加者数を制限させていただく場合があります。また, 見学会は, 2日間受講の方を優先とさせていただきますので, ご了承ください。

参加費 2日間:主催・協賛団体個人会員24,000円, 主催・協賛団体法人会員30,000円, 大学・官公庁15,000円, 学生会員3,000円, 会員外47,000円, 会員外学生6,000円

1日:主催・協賛団体個人会員19,000円, 主催・協賛団体法人会員23,000円, 大学・官公庁7,000円, 学生会員3,000円, 会員外37,000円, 会員外学生5,000円

申込方法 標記セミナー名を明記の上, 氏名, 勤務先, 連絡先(所在地, TEL, FAX, E-mail), 参加日, 交流会への参加/不参加, 見学会希望場所(第1～3希望)を明記の上, 下記にお申込下さい。参加費は現金書留または銀行振込(りそな銀行 御堂筋支店 普通預金

0405228「公益社団法人化学工学会関西支部」名義をご利用下さい。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センター6階)

公益社団法人化学工学会関西支部

TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org

第16回キンカ高分子化学研修コース

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部 ほかに

日時 2019年3月4日(月)9:30～19:00

場所 大阪科学技術センター7階701号室(大阪市西区靱本町1-8-4)
(交通)大阪メトロ(地下鉄)四つ橋線「本町」駅25番, 28番出口を北へ徒歩約7分, うつほ公園北詰

プログラム

1. 高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術(9:30～11:00)
(京工繊大院工芸科学)中 建介氏
2. 高分子物性の基礎と応用～相溶性と高分子ブレンド(11:00～12:10)
(滋賀県大工)徳満勝久氏
3. 高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合(13:30～14:30)
(住重機械プロセス機器)竹中克英氏
4. 高分子の成形加工品の評価～ユーザーから見れば(14:40～15:50)
(大阪ガス)樋口裕思氏
5. 研究開発と事業化～機能性ポリマーの企業化例を通じて(16:10～17:20)
(日本触媒)上田賢一氏
6. 交流会(17:30～19:00) 同センター 地下1階B101号室(参加無料)

参加費 主催・共催団体会員30,000円, 会員外40,000円(消費税, テキスト代含む)

申込方法 標記行事名を題記し, 1)氏名, 2)勤務先(所属), 3)会員資格, 4)連絡先(所在地, 電話番号, E-mail), 5)交流会の参加/不参加を明記の上, 下記宛お申し込み下さい。参加費は銀行振込(三井住友銀行 備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会名義)または, 現金書留でご送金下さい。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 一般社団法人近畿化学協会
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail: mail@kinka.or.jp

九州支部

第21回「企業と大学・高専の
人材育成懇談会」

化学工学会九州支部では, 企業と大学・高専間の人材育成および求人・就職に関する情報交換を目的として, 首記の懇談会を開催します。

主催 化学工学会九州支部
共催 東九州化学工学懇談会, 西九州化学工学懇談会, 南九州化学工学懇談会, 北九州化学工学懇談会, 沖縄化学装置懇談会

日時 2019年1月25日(金)13:00～19:30 予定
会場 TKP ガーデンシティ博多
福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ内5F(TEL:092-474-5145)
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hakata/access/>

※近隣に類似会場がございますので, ご注意くださいようお願い申し上げます。

プログラム

1. 支部長挨拶
2. 参加企業と大学・高専との相談会(ブース形式) 名刺交換・懇談
3. 懇親会

参加費

会員企業の方 1人3万円
非会員企業の方 1人3万5千円
大学・高専の方 1人5千円

定員 24社(申込順, 1社3名以内)100名(申込順)
参加申込方法 申込書を九州支部へご請求の上, ご記入後E-mailまたはFAXにてご返送下さい。

また, 参加費は, 来年1月末までに下記までお振り込み下さい。

参加申込締切 2018年12月14日(金)

振込先 西日本シティ銀行 前原支店(普通) 1784693 名義「公益社団法人化学工学会九州支部人材育成懇談会 代表者 柘植 義文」

申込先 〒819-039 福岡市西区元岡744番地 九州大学工学研究院化学工学部門内 化学工学会九州支部

TEL&FAX:092-802-0009

E-mail: kshibu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp

URL: <http://www3.scej.org/kyushu/>

「化学工学」誌会告欄執筆基準の周知について

化学工学誌における会告原稿について下記の基準を設けております。情報伝達の効率化とスリム化のための措置であり、特段のご配慮を戴きたくお願いいたします。(なお、原稿は掲載月の前々月25日迄に、[日本印刷\(株\)\(秋山\)](#)、E-mail <edit@npc-tyo.com>までWORDの添付ファイル形式でお届け下さい。)

尚、会誌掲載原稿は学会のホームページにも掲載します。

記

特に記載のある場合以外はすべての案内記事を1回掲載とし、会告欄掲載以降は実施月までカレンダーに掲載し、案内収録号参照とする。一つの案内記事内に重複情報は入れないように配慮する。

(本部関係)

- 集会(年会、秋季大会)、参加案内記事
 1. 講演募集およびシンポジウムテーマ募集は1回掲載
 2. 参加募集は3回掲載(内1回は予告)
 3. プログラムは1回掲載
- 会費納入案内は3回掲載
- 総会案内は2回掲載

(支部・各部門関係)

- 支部大会参加案内記事
 1. 講演募集は1回掲載
 2. 参加募集は2回掲載
 3. プログラムは1回掲載
- その他集会(講習会、講演会、学生行事など)
 1. 1回掲載とする。
 2. ア) 内容プログラムがある場合は前文は書かない。(企画意図、開催意義などはプログラム内容で判断できる。)イ) プログラムがなく内容説明が不可欠の場合は数行程度で簡潔に記載する。(会告記事としてあたりまえのことは記載しない。例：多数の参加をお待ちします。一会告を出すのは参加を呼びかけるのが目的であるからこのような記載は不要—)
 3. 内容プログラムは実質部分のみとする。(羅列的に記述せず、内容としての要点のみとする。一例：開会・終了挨拶などは削除)
 4. 参加要領等(参加申し込み方法、参加費支払方法など)は必要最小限の情報とする。

求人情報

- 必要最小限の情報(機関名・人員・専門分野・応募資格・応募締切日・問合せ先・TEL・E-mail等)にとどめる。

共催・協賛行事等案内

- 原則として、カレンダーのみとする。

図書等(学会＝本部・支部刊行)案内

- 内容を数行で紹介することを標準とする。(目次の羅列的介绍は行わない)

追記：上記基準を逸脱している原稿については、情報サービスセンター長の判断で内容変更を伴わない配慮をした上で短縮します。

以上